

SC-32 それは非常に速く起こることがある

“It can happen awfully fast.” by Lary Faris

抄訳：薩川俊三

最高のシャフラーは一度に1ディスクだけ得点するプレーをする。ここで1つ、そこで1つと得点して、対戦相手を負かす。ゆっくりだが着々と勝利に向かって進む。だが時には火山の爆発があり、得点が止めることができない溶岩のようにあふれ出る。それは非常に速く起こることがある。

偉大なプレーヤーのルー・タンスキーが1970年、セントピーターズバーグのミラーレイク・クラブで開催された全米選手権で2連勝に向けて勝ち進んでいた時に、そのようなことがあった。ルーはセントラル地区のクラブのエキスパートと、大観覧席がある立派なセンターコートでプレーしていた。第3ゲームで、ルーは45対66でリードされていた（訳者注：3ゲームマッチで行われる75ポイントゲーム。最初の2ゲームが1勝1敗だった）。ルーはハンマーを持っていたが、相手が66得点で21点リードしているので、観覧席にいた私達の多くはルーが形勢不利と思っていた。

エキスパートはセントピートを置いた。ルーは得点し、エキスパートはそれをクリアした。ルーは再び得点しに行き、相手側の7に置いた。エキスパートはこのディスクをミスして残した。ここでルーは重要なショットを行なった。ルーは第6ショットのディスクを、1番のシュート位置の出来る限りセパレーション・トライアングル近くから、セントピートの非常に近くを通して、自分側8にシュートし、外側ライン近くに得点した。ボード上の状況は、エキスパートにとって全く無害に見えた。第7ショットを8得点の外側に当てれば良かったのだ。コンビネーション・ショットで得点2枚を取り除こうとして、例え8得点だけに当てて7得点を残しても、未だ相手に得点を与える余裕があって問題なかった。

しかしルーは罠を仕掛けていた。相手は8得点の外側に当てるため、第7ショットをセントピートの危険な程近くを通さなければならなかった。ルーはその危険を作り出すように、8得点を注意深く置いたのだ。エキスパートがコンビネーションで得点2枚を取り除こうとした第7ショットがセントピートに触れて、ルーの8と7の得点が残った。ルーはハンマーを7得点して合計23点を得て、スコアは突然に68対66になった。ルーは、彼の次のハンマーのフレームで得点して、ゲームポイントの75点に達して勝った。

